

## 第 156 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 26 年 4 月 8 日(火) 開催 会場：株式会社ジェイ・エム・シー 2 階会議室】

### 1. 株式会社アポロジャパン 代表者 顧 澤蒼 氏、発表者 取締役 岸上 郁子 氏

(<http://www.apollo-japan.ne.jp/>)

【住所】 神奈川県横浜市鶴見区小野町75-1 横浜リーディングベンチャープラザ1号館503号

【設立】 2005年3月 【資本金】 47,295千円

【事業概要】 自社特許技術スクリーンコードのライセンスビジネス、スクリーンコード関連ハード開発・販売、スクリーンコード関連ソフトウェア開発・販売、ITC(Image to Code)新技術を使ったスマートフォンアプリ事業

【コメント】 当社開発の「スクリーンコード」とは第三世代のバーコードのことです。具体的には印刷の画質を落とさないままでバーコード以上の可変情報の実現が出来、携帯電話での読み取りや高速工業印刷も可能になるそうです。また中国の国家基準も取得しているそうです。現在は主に大手の英会話教室の音声ペンで使用されており、将来的にはスマートフォンに当社開発の専用レンズを取り付けることであらゆる分野での情報提供が可能になるとのこと。かなりの市場規模が見込まれるそうです。



### 2. スペースリンク株式会社 代表者 阿部 俊雄 氏 (<http://www.spacelink.biz/>)

【住所】 神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 慶應藤沢イノベーションビル212号

【設立】 2004年5月 【資本金】 34,000千円

【事業概要】 宇宙用電子機器、測位受信機、ナノテク応用製品の開発、製造販売、CNT(Carbon Nano Tube)を電極材とした大容量キャパシタの開発製品化の事業

【コメント】 阿部社長のご経歴は人工衛星開発メーカーに約30年おられ、CNTを利用すると劣化の少ない装置や材料を開発することが出来ることに気が付き、当社を設立されたそうです。特に当社が開発したエネルギー分野での応用が期待出来る「CNTキャパシタ」はipadや掃除用ロボットの充電、車の鉛蓄電池の代替、蓄電装置等で展開されており、お客様の用途でカスタムメイドが出来るそうです。

### 3. 株式会社ハッピーリス 代表者 吉田 理恵 氏 (<http://www.happyris.com/>)

【住所】 東京都大田区本羽田 2-12-1 テクノ WING403

【設立】 2006年12月 【資本金】 1,000千円

【事業概要】 高齢者の食事介助をする時に嚥下音(飲みこみの音)と呼吸音異常による誤嚥状態を介助者がスピーカーまたはイヤホンから聞くことによって、次の一口を口に入れる目安がわかる機器(仮称ごっくんチェッカー)を東京医科歯科大学協力のもと開発した。すでに入院患者、高齢者施設、在宅でのケアマネージャーによる食事介護での試用で高く評価されている。飲みこみの弱い高齢者ができる限り胃瘻に頼らず口から食べられるよう、安心して介護するための道具である。弊社独自技術である「電気を使わずに周波数、音圧、音場を調整できる集音プローブ」を採用し、今まで採取不可能だった誤嚥音を採取することに成功。この集音プローブ技術はこれまで工業・輸送の監視システムに使われており、川崎重工業様、マツダ自動車様、日立ライフサプライ様等へ納品している。また医療研究分野でも体内の微小な音を記録する集音器として多くの大学・病院で使われている。本技術に関連した受賞は、総務省経済産業省後援 MCPC アワード 2009、2010 連続受賞、川崎起業家オーディション第60回、第88回受賞、京都テクノロジー&ビジネスプランコンテスト 2012 受賞、大田区新製品新技術開発コンクール奨励賞受賞、大田区ビジネスプランコンテスト受賞。ごっくんチェッカーは現在プロトタイプのみ販売開始。完全製品化し、国内・欧米・東南アジアの介護市場と工業・輸送での世界的な市場。そのため先進国製造・輸送、新興国インフラ整備など大きな市場規模となる。

【コメント】 吉田社長のご経歴は1990年台にミリオンヒットを出した大事 MANブラザーズバンドの元メンバー。吉田社長には絶対音感があり、音響工学に精通しておられ、いわゆる音のスペシャリストです。この「ごっくんチェッカー」は介護負担を少しでも軽減したいという目的で開発されたそうです。現在、医療分野以外の音に関する相談が多数寄せられており、市場規模としては無限にありそうです。個人的にはアナログ分野で女性が活躍されるのを応援したい気持ちになりました。



### 4. 株式会社ジェイ・エム・シー 代表者 渡邊 大知 氏、発表者 取締役 上杉 北斗 氏

(<http://www.jmc-rp.co.jp/>)

【住所】 神奈川県横浜市港北区新横浜 2 丁目 5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

【設立】 1992年12月 【資本金】 63,000千円

【事業概要】 3Dプリンター出力サービス、鋳造品製造、医療モデル受託製作

【コメント】 毎日のように色々なところで目にするようになった『3D プリンター』。何故、ここまで注目されるようになったかという新聞紙上に「東京オリンピックが開催される 2020 年には 3D プリンターの波及効果が 21 兆円」という記事が出たり、メーカーズという書籍にも取り上げられたからだそうです。もちろん CAD が進化したという技術的な要因もありますが今では家庭用の低価格の装置も出回るようになりました。そんな中、当社では 15 年蓄積してきたノウハウや実績を活かし、3D プリンターの特性を活かした新しい事業を模索することになりました。具体的なアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非、直接お問い合わせ下さい。



会場風景

#### 《感想》

今回は4社目に発表したジェイ・エム・シー社の会議室をお借りさせて頂いたのですが満席になるほど大変盛況な会になり、約80名の方々にご出席を賜りました。また発表会後には発表企業との名刺交換の長い列が出来ており、盛んな意見交換が行われておりました。

#### ☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

#### 第 157 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

次回の開催は下記の日時を予定しております。

発表企業等の詳細は、後日、改めてご案内させていただきます。

■日時:平成 26 年 5 月 13 日(火) 13:30~16:00 (発表後、交流会)

■会場:学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階

([http://www.iwasaki.ac.jp/access\\_shinyoko.html](http://www.iwasaki.ac.jp/access_shinyoko.html))

横浜市港北区新横浜 2-4-10

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA TEL : 045-470-8668

(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード TEL : 045-470-8088 井 汲